報告書作成日　令和　　年　　月　　日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学部・研究科名 |  | | | 学科（課程）・専攻名 |  | |
| 在籍番号 |  | 氏　名 |  | | 指導教員印 |  |

「教職実践演習」共通選択・学部選択参加報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 期　　日 |  |
| 場　 所 |  |
| 概　 要 | **共通選択**  　a　現場の公開授業研究会等への参加    **学部選択**  　a　子ども対象のイベント等への参加  　b　実験・調査活動・討論等で、取得希望免許の教科内容に関わる演習  　c　各学部が主催する教科に関する研究会等への参加  　d　卒業生（教員）と在学生との交流会への参加 |
| 学んだこと |  |

１．学生はこの報告書に必要事項を記入し，「教職実践演習（中等）出席確認票」とともに指導教員等に提出すること。

　　メールの場合は，報告書のみ提出すること。

２．指導教員等は記入内容を確認して「報告書」に確認印を押印するとともに，「出席確認票」の該当する項目に出席確認印を押印（1日参加は６コマ分に、半日参加は3コマ分に換算）して，学生に「報告書」及び「出席確認票」を返却します。

　　メール提出の場合は，記載内容を確認した旨とコマ数を返信します。

３．学生は「報告書」（メール提出の場合は，指導教員等からの返信メールを印刷したものも必要）を各自で保管し，１２月

に指示があったら「出席確認票」と「報告書」（メール提出の場合は返信メールも）を所属の学務係に提出すること。**（　記　入　例　）**

【 **ボールペン等で記入又はｗordで作成　】**※ボールペン等は，消えないインクを使用。

報告書作成日　令和●年●月●日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学部・研究科名 | 〇〇学部 | | | 学科（課程）・専攻名 | 〇〇学科 | |
| 在籍番号 | X12X345X | 氏　名 | 〇〇　〇〇 | | 指導教員印 |  |

「教職実践演習」共通選択・学部選択参加報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 期　　日 | 令和●年●月●日（金）　※参加期間は10~12月に限る。それ以外は対象外。 |
| 場　 所 | 〇〇中学校 |
| 概　 要 | **共通選択**  　a　現場の公開授業研究会等への参加    **学部選択**  　a　子ども対象のイベント等への参加  　b　実験・調査活動・討論等で、取得希望免許の教科内容に関わる演習  　c　各学部が主催する教科に関する研究会等への参加  　d　卒業生（教員）と在学生との交流会への参加 |
| 学んだこと | １年生「空間図形」（少人数指導、発展コース）の授業を参観した。  １　気付いたこと及び授業から学ぶべき点  　・先生は、生徒に合わせたペースで、生徒の目をきちんと見て授業をされていた。  　・意図的に一つ一つの学習活動が行われていた（一つの働きかけが他の流れに繋がっていた）。  　・指導案を見て、内容が難しそうだと思ったが、内容が整理されていて分かりやすかった。教材研究の深さを感じた。  　・先生が生徒に何を身につけさせたいかはっきりしていて、指示が明確であった。  　・生徒の「活動」を「研究」といっていて生徒もやる気を出していたように感じた。  ２　疑問  　・発展クラスのような教科書を飛び出した授業は何を参考に授業作りを　　しているのか。  　・生徒への配布プリントに＜感想＞＆＜さらに考えたいこと＞という欄があった。私は実習の時＜感想＞の欄を作ったが、本授業のように項目分けをして生徒に書かせることで、生徒の達成度、今後の課題が見つけやすいと感じた。これは毎回の授業でやっているのか（どのぐらいの期間をあけてやっているのか）。 |

**※word文書は，教職支援センターHP／冊子・用紙等のダウンロードページに掲載しています。**